

ミルヴェンジャー7誕生



秋田に動物園ができてから60年目となる記念すべき年に、「大森山の自然を愛し、命を尊び、命を守る、よく食べ、よく寝るよい子の味方!」ミルヴェンジャーセブンが誕生しました。写真はプロモーション用のものですが、大森山動物園で行われるイベント時に現れ、クイズの答えがわからずに困っている子供を助けたり、ステージショーを行ったり、大活躍中です。



アート&ハートプロジェクト

秋田公立美術工芸短期大学産業デザイン学科2年生の前期授業として、「秋田市大森山自然動物公園 アート&ハートプロジェクト」が行われました。これは、秋田市が策定した「秋田市大森山自然動物公園構想」を受けて、美術的観点から「大森山動物園をより魅力的なものにする」ということが大きな目的でした。最終プレゼンは、大森山動物園を会場に行われ、13のグループに分かれた約50名強の学生から様々な提案が繰り広げられました。



企業協賛を得てつくられた
バナー作品

昨年度の秋田公立美術工芸短期大学では、今年60周年を迎える大森山動物園をPRすることをテーマとした授業が行われました。その中の優秀な作品が、市内企業の協賛協力により、園内に掲示されております。写真は初夏の頃に撮影されたものですが、新緑から紅葉へと季節が移ろう中で、地元学生の表現力が、園内を華やかに彩っております。

60年記念として
イベントを開催しました!

児童会館・動物園60周年記念イベント
~子どもといっしょのお祝い会~



8月8日(日)、秋田県立児童会館と動物園の60周年を記念して、大森山動物園を会場に記念式典が開催されました。約30人の児童とそのご家族、秋田県副知事と秋田市長をはじめとする関係職員等、合計約150名が参加し、盛大に行われました。当日は猛暑日となりましたが、歌や朗読の他、動物パレードなどが行われ、終始和やかな雰囲気の中、大森山から世界に向けて「未来へ笑顔を!」というメッセージが発信されました。



移動動物園
~秋田県立児童会館~



8月21日(土)、秋田県立児童会館が60周年を記念して行った記念イベントに、大森山から沢山の動物達が駆けつけ会場を盛り上げました。ポニー(小型の馬)やフクロウ、ウサギやアオダイショウ(ハビ)などにふれあえるとあって、会場に訪れた子供達は大喜び、うだるような暑さの中、動物達もよく頑張ってくれました。



思い出の
写真・メッセージ

市民の皆様からの

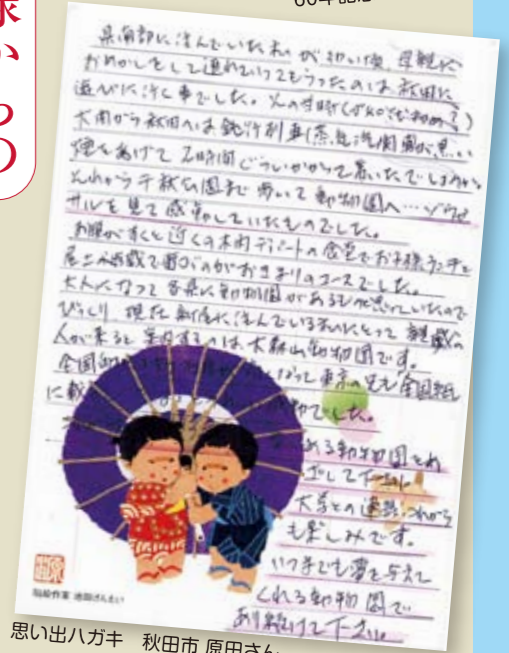
秋田の動物園60年記念としてパネル展を園内ミルヴェ館で開催しましたが、その際に当然のことながら、その根幹となる原材料(昔の写真等)が必要とされました。その多くは、大森山動物園で保管されていたもの、秋田市広報課で保管されていたもの、秋田魁新報社で保管されていたもの、秋田県児童会館で保管されていたものなどでしたが、市民県民が個々に保管している写真や、当時の思い出話などを綴ってもらえたら、より温かいパネル展になるという発想から、県民に対して募集したところ、全部で29枚の写真と10通のお手紙を頂くことができました。

写真は当時を偲ばせる白黒写真が中心ですが、驚いたり、嬉しかったり、楽しかったり、当時の心の様相が伝わってくるものが多数ありました。作文は、心がジーンとくるような、時代背景が厳しくても、その中にある小さな幸せや、その方の大切な思い出であることが伝わってくるような名文ばかりでした。動物園での思い出が、いかに皆様の心に深く刻まれているのか、また今の子供達にも刻まれていくのか、あらためて実感させられました。

資料提供をいただいた多くの皆様にお礼を申し上げます。



60年記念パネル展の様子



思い出八方キ 秋田市 原田さん



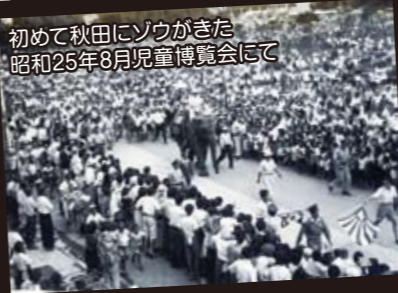
昭和25年8月児童博覧会の様子
千秋公園側から広小路を望む(なかど橋)



千秋公園時代 お猿の電車



千秋公園時代
お猿の電車にて秋田市 保坂さん



初めて秋田にゾウがきた
昭和25年8月児童博覧会にて



旧記念館 大正天皇御即位記念(現ジョイナス
県民会館)昭和34年解体 秋田市 長野さん



昭和35年頃千秋公園にて
秋田市 田中さん



昭和44年8月オウム籠前にて
秋田市 澤田さん



昭和50年代
人工哺育で育てたライオン
本園職員 松井さん



昭和55年頃大森山動物園ゲート前にて
秋田市 北島さん